

# 令和7年度第2回成田市「部活動の地域展開」に関する協議会議 議事録

期 日 令和7年7月31日（木）

開会 15：00

閉会 17：00

会 場 成田市役所 中会議室

次第

1 開会の言葉

2 協議会設置要綱の改正について

3 報告事項

(1) 第3期モデル事業の変更点について

①第3期モデル事業（令和7年新人戦以降）の生徒募集について 資料1

②地域クラブにおける大会参加について 資料2、3

(2) 今後の流れについて 資料4

4 協議事項

・受益者負担額について

5 その他

6 連絡事項

7 閉会の言葉

出席者 校長会・教頭会

成田市PTA連絡協議会

教育総務課

学務課

生涯学習課

公民館

スポーツ振興課

文化国際課

成田市スポーツ協会

総合型スポーツクラブ

文化団体連絡協議会

事務局

<議事録>

【1 開会の言葉】

(事務局)

本日はご多用の中、また猛暑の中ご出席をいただきまして誠にありがとうございます。

本日進行を務めます事務局でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

着座にて失礼いたします。

開会前にいくつか確認をさせていただきます。

まず今回も広報番組「なりた知っ得情報」の取材のため、成田ケーブルテレビが会議の様子を撮影しております。ご了承いただければと思います。

次に資料の確認をさせていただきます。

1つ目が次第、座席表、要綱、資料が1から4までとなっているものです。

2つ目が株式会社オークスベストフィットネスの資料になります。

府内の方には、税別の表示をお送りしておりましたが、本日税込の表示のものを用意していただいております。

もう一つ確認をさせてください。

今年度は本協議会で話し合った内容を市民の方々にも広く周知したいと考えております。

本協議会で話し合われた内容について、ホームページへの掲載にご賛同いただきたいと思いますが皆さんいかがでしょうか。

ありがとうございます。

では、掲載をさせていただきたいと思います。

また掲載の方法としまして、皆様の発言を残させていただく形の議事録と考えておりますが、よろしいでしょうか。

ありがとうございます。

では議事録ということで今後ホームページに掲載をさせていただきたいと思います。

それでは改めまして、これより令和7年度第2回成田市部活動の地域展開に関する協議会を開催いたします。どうぞよろしくお願ひいたします。

2番目の協議会設置要綱の改正についてでございます。

資料の3ページ4ページをご覧ください。

地域クラブによる学校施設の空調利用や、文化、地域クラブの展開の観点から今後の地域展開の方向性について、教育総務課と公民館と一緒に協議することが効果的と考えまして、今回より参加させていただいております。

参加にあたり、要綱を一部改正いたしましたので、4ページをご確認いただければと思います。

続いて報告事項に移ります。

まず（1）の第3期モデル事業の変更点について1（いち）第3期モデル事業のでは、新人戦以降となります。

生徒募集について事務局よりお願ひいたします。

(事務局)

事務局の成田市教育指導課です。よろしくお願ひします。

令和7年9月から順次始まる部活動地域展開第3期モデル事業について、変更した点が2点ございますのでご説明いたします。

まず、1点目です。資料1をご覧ください。現在、新人戦以降の第3期モデル事業の生徒募集を行っております。期限等については、一旦、明日をもって締め切らせていただきますここでの参加生徒人数でクラブ数を決定していく予定です。「④クラブ編成について」ですが、現状の部活動に入部している生徒が全て地域クラブに参加した場合、1クラブの参加人数が多くなりすぎてしまいうことが考えられます。安全面の確保が難しいことや、運動量の確保などから、地域クラブの参加人数が、1クラブあたり15名程度、または、1種目の人数の多い、野球やサッカーなどは20名程度集まった場合、ケース①や②のように1クラブを細分化する可能性があります。

また、先ほど示した人数に対して、1クラブあたりの人数が下回った場合は、拠点を越えて複数のクラブを統合する可能性もございます。

2校が集まった拠点内のクラブが複数に分かれた場合、現在と同じように学校ごとに地域クラブが立ち上ることがになりますが、基本的な考え方は今まで通り4拠点を原則としております。

(事務局)

ただいまのご説明につきまして、ご質問がありましたら挙手にてお願ひいたします。

よろしいでしょうか。

それでは続きまして、2番の地域クラブにおける大会参加について事務局よりお願ひいたします。

(事務局)

資料2をご覧ください。今年度、地域クラブ化した際は土日の部活動を停止し、練習や大会への参加については、原則地域クラブで行うことを予定しておりました。

しかし、資料3にあるように、小中学校体育連盟主催の大会要項を確認したところ、今年度より地域クラブの大会参加に際して、水泳、剣道以外の種目は資格が必要と明記されました。例えばテニスでは日本スポーツ協会公認資格のコーチ1以上が必要となり、費用や受講期間などは資料3の裏面のとおりです。これは、教員の兼職兼業であっても同様であり、地域クラブを引率する場合は兼職兼業の教員でも資格が必要とのことです。現状として資格を持っている指導者が少ないこと、資格取得にはお金がかかることや、有効期限があることも、大会参加への課題であると捉えております。

このような状況から子ども達が大会に参加できないというような不利益が生じないよう、当面の間、大会は、部活動として参加する判断をさせていただきました。

第3期モデル事業の変更点についての説明は以上となります。

(事務局)

ただいまの説明につきましてご質問等ありますでしょうか。

成田市スポーツ協会様、よろしくお願ひいたします。

(成田市スポーツ協会)

柔道クラブの指導にも携わっておりますので、質問させてください。

現在、柔道部はクラブとして活動していますが、参加申込書の項目に柔道部が含まれていません。特に問題なく参加できているものに関しては、そのままクラブでも問題ないという理解でよろしいでしょうか。

(事務局)

基本的に今参加するための資格を持っているクラブに関しては、クラブとして参加していただくことになると思います。

今年度に関しては、柔道はクラブとして参加しますので、そのまま引き続き柔道はクラブとして参加していただくことと考えております。

(成田市スポーツ協会)

柔道の場合は、部活動をなくし成田柔道クラブを立ち上げたため、このあと部活動で参加しようとすると二重登録になってしまいます。

各競技団体で運用が違うと思いますので、競技ごとに運用を見直していくと、今後スムーズになると思います。

(事務局)

ありがとうございます。

(事務局)

はい、ありがとうございます。他にございませんでしょうか。

(成田市PTA連絡協議会)

現在立ち上げているクラブには、この資格をお持ちの人が指導をしているのでしょうか。

(事務局)

現在立ち上げているクラブに関しては、資格は持っていない指導者が指導しております。

クラブ設立や練習をするだけなら指導者の資格は不要で、小中体連の大会に参加する場合にのみ指導者資格が必要となります。

(成田市PTA連絡協議会)

今指導者資格をお持ちの方はどれくらい登録しているのでしょうか。

(事務局)

若干名というふうに聞いております。

(事務局)

ありがとうございます。他いかがでしょうか。

(校長会)

学校の教員にとっては休日の大会の引率が問題になります。

しかし、練習はクラブの指導員に見てもらえるので、その分は働き方改革となります。

例えば、参考資料の拠点の大会参加規約を見ますと、拠点校の引率監督は、拠点校の教員、校長、教員部活指導員、または校長が承認した外部指導員とされています。

部活動指導員や校長が承認した外部指導員をクラブの指導員に充てた場合、資格がなくても引率可能と捉えてよろしいでしょうか。

(事務局)

はい。私達としても、この外部指導員等にクラブの指導者が、校長先生の承認をいただければ、引率して良いと考えております。

(事務局)

よろしいでしょうか。他いかがでしょうか。

では次に（2）の今後の流れについて事務局お願いいいたします。

(事務局)

続きまして、今後の流れについてご説明します。資料4をご覧ください。

県、国の方針を受け、本市の示す部活動の地域展開の令和8年度4月受益者負担をスタートするまでと令和9年度以降のスケジュールについてとなります。

まず、本日の「成田市部活動の地域展開に関する協議会」で委託業者のオーナー・ベストフィットネスより仮算出された受益者負担額を提示し、おおよその金額を協議いたします。7月、10月の協議会で検討した受益者金額を教育委員会会議にかけ、決定していく流れとなっております。9月には仮の受益者負担額、扶助費を決定し、12月には受益者負担額の決定後、学校、保護者への通知を考えております。よろしくお願いいいたします。

(事務局)

ただいまの説明につきましてご質問等ございましたらお願いいいたします。

よろしいでしょうか。では続きまして協議事項に入ります。

設置要綱の第5条により会長が議長となるとありますので、会長（教育長）に議長をお願いした

いと思います。

よろしくお願ひいたします。

(教育長)

それでは議長を務めさせていただきます。よろしくお願ひしたいいたします。

着座にて失礼いたします。

それでは、次第に沿って進めてまいります。協議事項は、地域クラブに参加する生徒の受益者負担額となります。

本日の協議会では、仮の受益者負担額の方向性を定め、教育委員会会議で諮りたいと考えております。

流れといたしましては、まずモデル事業委託事業者、株式会社オークスベストフィットネス様より第2期モデル事業のアンケート結果およびアンケートから算出した受益者負担額の案についてご提案いただき、協議を行います。

ここでは指導者1人当たりに対する生徒数が協議の中心となります。

次に、指導者の報酬額に伴う受益者負担額の変化についてご説明いただき、最終的に適正な指導者報酬と受益者負担額について定期的な協議ができればと考えております。

アンケート結果及び、受益者負担額の案について、オークスベストフィットネス様ご説明をお願いいたします。

(オークスベストフィットネス)

それでは、お手元資料に基づきご案内させていただきます。

まず、2ページ目をご覧ください。

アンケート調査は、現在クラブに参加している288名の保護者を対象として実施しました。

実施期間は約2週間で、回答数は約180名、回答率は約63%です。

100%に近い形で声掛けは行いましたが、期日もあったため、ここで打ち切らせていただきました。

次のページをご覧ください。

こちらは生徒の満足度に関するアンケート結果です。

現在のクラブに参加している生徒の多くが、クラブ活動を楽しいと感じているという結果が出ています。

次のページは、保護者からの指導員への満足度に関するアンケート結果です。

約95%の保護者が、指導員に対して不満を感じていないという結果が出ています。

特に、「とても満足」「やや満足」と回答した方が78%を占めています。

「普通」と回答した方は、クラブの活動内容をよく知らない、あるいは子供から不満を聞いていないといった理由で、この様に回答したようです。

次のページは、指導員への満足度アンケートのコメントです。

「とても満足」「やや満足」と回答した方からは、指導が丁寧で、子供のことを理解してくれているので安心できる、親身になって指導してもらっているといった意見が寄せられました。

「やや不満」「とても不満」と回答した方からは、指導に関する個別の意見が寄せられました。

例えば、指導者の声が大きい時、怒られているように感じてしまう、人数が多いと指導者の目が行き届かないといった意見がありました。

また、「部活と変わらない」「兼職の先生が指導しているので、地域クラブなら他の先生に教えてほしい」といった意見もありました。

その他、「活動回数を増やしてほしい」「中学校を卒業後も地域クラブに参加したい」といった要望もありました。

次のページは、保護者から地域クラブに対する運営の満足度に関するアンケート結果です。

「とても満足」が42%、「やや満足」が35%、「普通」が18%という結果でした。

次のページは、令和8年4月より導入予定の受益者負担額に関するアンケート結果です。

「習い事として、地域クラブにお金を払うことに理解を示している」という意見が多く寄せられました。

また、「お金を払うからには、指導の質や地域クラブ運営上のメリットを求めている」という意見もありました。「適正な金額であれば理解できる」という意見もいただきました。

受益者負担額については、次のページからご案内させていただきます。

まず、平均の希望月会費の調査結果です。

5,000円以上、4,000円、3,000円、2,000円、1,000円の5つの選択肢を設定しました。

5,000円以上の項目は、現在の習い事の単価が平均6,000円程度と言われているため、それ以上となると保護者様にとって大きな負担になる可能性があると考え、設定しておりません。

アンケートの結果、平均希望月会費は3,000円から3,500円となりました。

このアンケート結果を基に、受益者負担額を算定しました。

次のページをご覧ください。

この受益者負担額は、3,000円をベースに、指導員の配置による比較表を作成しました。

練習時の時給は、第2期モデル事業までは1,600円でしたが、第3期（9月以降）は1,700円、今回からは1,800円となります。

大会帯同日当は、現在は5,100円ですが、持続可能な運営を目指し、1万円（交通費別途1,000円）とさせていただきます。

練習指導回数は48回、大会帯同は年間10回程度を見込んでいます。

表は、生徒20名に対して指導者1名のケースで、月会費3,300円、年会費4,950円となっています。

参加期間は、1年生が5月から11月（4月を除く）、2年生が1年間、3年生が4月から7月です。

選手の数の算出については、全体の人数から部活動をしている人数を差し引き、約75%とし、さらに月謝を支払うことで登録者数が減る可能性を考慮し、約9割程度の人数を基に算出しています。

この算出結果に基づき、すべての数値を計算しています。

生徒20名に対して指導者1名の場合、月会費3,300円、年会費4,950円です。

生徒15名に対して指導者1名の場合、月会費4,125円となり、第3期モデルと同等ですが、時給は100円アップ、日当は2,000円アップしています。

生徒10名に対して指導者1名の場合、月会費5,500円となります。

一番下のコメントにも記載していますが、生徒10名に対して指導者1名の場合、指導者の数が生徒20名の場合の2倍になります。

指導者の確保と質の担保という課題は、今後とも努力していく必要があると考えています。

以上、比較表について説明させていただきました。

（教育長）

ご報告ありがとうございました。

生徒20名につき指導者1人だと受益者負担月会費が3,300円という資料を今説明していただきました。

それでは、事務局の方から補足の説明等ございますでしょうか。

（事務局）

一つだけ補足をさせていただきます。

令和8年4月以降は、子供が集まればその場所でクラブが立ち上がるという認識になります。

そのため、クラブ数をあらかじめ設定するのではなく、子供が集まればそこでクラブが立ち上がるイメージです。

例えば、同一校内に20人集まれば、その学校ごとにクラブ化されます。

あくまでも拠点という考え方を捨てるわけではなく、今後少子化が見込まれることから、人数が少なくなればまずは拠点内で統合し、拠点内でも人数が集まらない場合は拠点を超えて統合していくという流れは変わりません。

この点を、追加させていただきます。

(教育長)

皆様の方からご提案いただいた設定規約について、ご意見等ございましたら、挙手をお願いいたします。

(総合型スポーツクラブ)

アンケート調査についてなんですか? この対象者数の288名は、市内11の中学校にある11のモデルクラブの保護者の方が答えてる数が288名ということでしょうか。

(オーパスベストフィットネス)

はい。おっしゃる通りです。

(教育長)

ご意見だけでなく、この内容についてご不明な点がございましたら挙手をお願いします。

(成田市スポーツ協会)

受益者負担3,000円ベースにした資料に配置する比較表で、交通費を1,000円別途ありますか? 全国大会とか関東大会とか行ったときも1,000円っていう考え方でしょうか。

(オーパスベストフィットネス)

今回の交通費については、近隣の大会を想定しており、遠征は含まれておりません。

もし関東以上の大会に出場する場合には、別途協議が必要となる可能性があります。

(成田市スポーツ協会)

現在活動しているクラブでは、成田市スポーツ協会の表彰なども行っていますが、上位大会へ進む生徒が増えてきています。

部活動の場合、上位大会への引率の旅費は教育委員会から支給されます。

しかし、クラブになった場合、指導員の引率は自費となるため、今後も指導者の旅費等を考慮する必要があるかもしれません。

この点について、どのように考えていますか。

(オーパスベストフィットネス)

現在、関東大会や全国大会といった上位大会への参加には、中体連も関わる場合があり、多くの生徒が部活として参加しています。

そのため、地域クラブとして、どのレベルまでの大会への補助を検討できるのかは、1人当たりの月会費と年間費、そして事務局費などを考慮して、調整していく必要があると考えています。

しかし、年間にかかる費用については、まだ詳細な算定ができていないため、今後の課題とさせていただきます。

(成田市スポーツ協会)

承知しました。

(教育長)

貴重なご意見ありがとうございました。それでは今後の検討課題ということで、よろしくお願ひしたいと思います。他にございますでしょうか。成田市PTA連絡協議会様お願いします。

(成田市PTA連絡協議会)

年会費はどのような内訳でしょうか。

(オーパスベストフィットネス)

年会費の内訳は、大きく分けて運営費、事務局人件費、活動運営費、指導者の活動費となります。

これらの費用は、収入の約60%から65%を占めています。

(成田市PTA連絡協議会)

途中で辞めた場合、年会費は戻ってこないのでしょうか。

(オーツバストフィットネス)

その通りです。3年生が4ヶ月しかありませんので、そういう場合は4ヶ月の割り算をすることは十分考えております。

(成田市PTA連絡協議会)

3,000円から5,000円という幅があると、保護者の方の中には3,000円ぐらいがありがたいと感じる方が多いのではないかと思います。

今回のアンケートは、クラブに参加している保護者の方のみを対象としていたため、もう少し幅広い層の意見を聞くべきだったかもしれません。

例えば、Formsを使って全中学校の保護者を対象にアンケートを実施するなど、方法もあったのではないかと感じています。

金額設定の保護者の声を聞いてみると、剣道や吹奏楽など、競技によっては保護者の意見が大きく異なる場合があるため、もう少し多くの意見を参考にすべきだったと思います。

受益者負担額は、競技によって変えずに、一律に同じ金額で決定されたのでしょうか。

(教育長)

アンケート対象者についてのご意見と、受益者負担額についても一律なのかどうかについてご質問ですが、オーツバストフィットネス様の方からよろしいでしょうか。

(オーツバストフィットネス)

アンケート調査については、確かに幅広く意見を聞くべきというご意見もございました。

しかし、地域クラブに参加しているからこそ、クラブにどのくらいのお金を支払うかという感覚値が生まれ、より現実的な回答が得られるのではないかと考え、今回は11クラブの参加者を対象にアンケートを実施しました。

柔道1クラブのみの時には、非常に質の高い指導が行われているため、月会費が5,000円近くでも良いという意見が多く、金額設定が難しくなりました。

また、様々な種目が行われるようになり、平均的な金額を算出する必要がありました。

参加していない方は、部活のイメージしかないため、金額はさらに低くなる可能性も十分に考えられます。そのため、今回は参加者を対象にアンケートを実施することにしました。

種目によって受益者負担額を変えるのは、非常に難しいと考えています。

地域クラブを運営する全体として、子供たちがどんな競技でも参加しやすいという趣旨があります。

そのため、運営会社でコストをうまくコントロールしながら、一律の金額にすることで、様々な競技に参加しやすくするという理由で、受益者負担額は一律に設定しています。

(事務局)

教育委員会としても、今回のステップ型地域クラブは、なるべく多くの子供たちが参加できるように、そして拠点間をまたぐことが難しい状況を考慮し、種目によって金額が変わることは、今後の運営を難しくする可能性があります。

オーツバストフィットネスの方からも、種目によってコストが変わってくる場合は、例えば、コストを抑えられる種目については、イベントを開催して指導者を招き、教室を開くといった方法も検討されているとのことでした。

そのため、具体的な期間は未定ですが、一定期間は受益者負担額を同一金額で維持したいと考えています

(教育長)

それでは他の方からもご質問あるいはご意見ございましたらお願ひいたします。

(学務課)

指導員の数のところで、質問をさせていただきます。

学務課では、兼職兼業の申請を受理する際に、ご協力できる部分があるかと思います。

以前、33名ほどの兼職兼業の登録や申請があったと伺いましたが、資料によると生徒20名に対して指導者1名の場合、合計116名の指導員が必要となります。

さらに、生徒10名に対して指導者1名となると、指導員数は232名と倍近く必要になり、月会費も高くなることが予想されます。

学校の先生の中には、兼職兼業で部活動を指導したいと考えている方もいらっしゃると思いますので、兼職兼業の先生を積極的に活用していくことは可能だと思います。

しかし、それ以外の方法で、どのように指導者を確保していくのか、具体的にどのような計画をお持ちなのか、お伺いしたいです。

仮に、手厚い指導体制で、指導者232名が必要という結論になった場合、その人数を確保できる見込みや具体的な計画はありますか。

(オーパスベストフィットネス)

当社では、現在、約10市町村で事業を行っており、指導員の確保は課題となっています。

今後のクラブ数増加を見据えると、理想的には、兼職兼業の先生に約半数ほどご協力いただけると、安定的な人材供給が可能になると考えています。

これはどの市町村でも共通の課題です。

しかし、兼職兼業で指導可能な先生ばかりではないということも認識しており、各市町ではスポーツ協会様のご協力や、近隣の市町村との連携が必要となります。

当社では、人材バンクを運営しており、現在、約800名以上の登録があります。

これは、現在のモデル事業中の登録者数であり、他の市町で登録している方も、成田市で指導できるならという方もいらっしゃると思います。

人材確保に向けては、PR活動を行うとともに、スポーツ協会や複数のクラブを運営している団体様との連携を強化していくことが重要となります。

(教育長)

よろしいでしょうか。

(事務局)

事務局より、皆様のご意見をぜひお聞かせいただきたいと思っております。

今回提示した3つのパターンは、確かに少ない数ですが、例えば、生徒20名に対して指導者1名という現在の設定を、25名や30名に1名とすると、運動量の確保や安全面への配慮が難しくなるという判断をオーパスベストフィットネスから受けております。

そのため、最低ラインとして20名に1名という設定にさせていただきました。

もし、この協議会で25名に対して1名、または30名に対して1名という案が出た場合は、本日、可能な限りオーパスベストフィットネスに、その場合の月額負担額について概算で教えていただくよう、お願いしていきます。

現在、第3期モデル事業では、生徒15名に対して指導者1名の体制で実施しています。

そのため、同等の環境を維持するためには、資料にあるように月会費4125円が必要となり、先ほどのアンケート結果から考えると、かなり高額になってしまいます。

皆様には、様々な視点からご意見をお聞かせください。

例えば、理想的な指導体制はどのようなものか、指導者1名に対して生徒を何人つけるのが最適な環境か、といった点について、まずはご意見をお聞かせいただければと思います。

月会費については、その後改めて協議していくことも可能ですので、ご遠慮なくご意見をお聞かせください。

よろしくお願ひいたします。

(教育長)

今事務局の方から伺ってそれを反映させたいということがございましたので、どうぞよろしくお願ひいたします。

(校長会)

現在検討中のことですが、実際に指導者を確保できるのかという点については、懸念があります。

教員からの協力は、50%程度が限界ではないかと考えています。

例えば、部活が盛んな地域に異動してきた教員は、以前の勤務地と比べて負担が増加し、部活の指導について疑問を持つ方も少なくありません。

また、近年は、特にコロナ禍の影響で部活が休止されていた期間もあり、若い世代の教員の中には、朝練や土日の部活指導がなく、プライベートの時間も充実していたため、土日勤務を希望する人が少ない可能性もあります。

このような状況を考えると、現在の報酬体系では、50%の教員を確保することは難しいと考えています。

そのため、より幅広い層から指導者を確保するための努力が必要となります。

教員以外の指導者を積極的に募集し、人材バンクの活用や、地域との連携を強化していくことが重要です。

指導者を確保できた段階で、指導体制や報酬体系について改めて検討していく必要があるでしょう。

(教育長)

教員の50%という目標は、現状では少し厳しいのではないかと感じています。

(オーケスベストフィットネス)

先ほど申し上げた教員の50%という目標は、あくまで理想であり、現実は難しいと考えています。実際には、どの市町村でも、教員からの協力は30%から40%程度にとどまっているのが現状です。

また、対象となるのは中学生だけでなく、小学校、高校、大学と、様々なカテゴリーがあります。さらに、大学連携の話も出てきており、現在、大学生についても大学との連携を進めています。

このように、人材確保の方法も常に増えている状況です。

教員から50%の協力を得ることができれば、非常に生産性が高い人材供給が可能になると考えますが、現実は30%から40%程度を想定し、人材選考を進めています。

(校長会)

働き方改革の観点から、教員の負担軽減を目的として、土日は教員を指導から外すという方針であれば、教員に土日の指導を頼るのは難しいと感じます。

月曜日から金曜日まで教員が勤務し、土日もクラブ活動を行うとなると、従来と変わらない状況になってしまいます。

もちろん、積極的に土日の指導を希望する教員は、積極的に参加を促すべきですが、外部の人材、特に大学生との連携を強化していくことが重要です。

大学生の中には、ボランティア活動に興味を持っている方も多く、彼らの力をうまく活用することで、指導者の確保に繋がる可能性があります。

(教育長)

大学の件やスポーツ協会という話題が出たのですが、具体的にどのように進んでいるのでしょうか。

(オークスベストフィットネス)

指導者の確保については、スポーツ協会ではなく、各競技の連盟や協会と連携を進めています。順天堂大学に関しても、多くの市町村が学生の協力を期待しており、成田市でもいち早く確保できるよう、大学側と協議を進めています。

ただし、大学生をメインの指導者として任せるのは適切ではないと考えており、大学生は、大人の方の指導をサポートする形で、2人1組で1名の大人指導者を補助するような体制を構築したいと考えています。

兼職兼業を希望する教員のみを採用し、無理強いすることはありませんので、働き方改革はしっかりと進められると考えています。

(シティプロモーション部長)

会費の20名・15名・10名で、これは15人なら15人というふうな縛りになるのでしょうか。

16人とか17人の時はどちらの会費になるのですか。

(オークスベストフィットネス)

18人や19人の場合も十分考えられますね。

事務局では、指導員の稼働状況や安全面を考慮し、全体的なバランスをみて配置を決定していきます。

安全面を最優先とし、例えば生徒18名の場合でも、1名の指導者で安全が確保できると判断できれば、そのように運営することも可能です。

しかし、基本的には生徒数が15名を超えた場合は、2名の指導者を配置できるよう予算を確保する必要があると考えています。

生徒20名に対して指導者が1名なのか、2名なのか、3名なのかといった判断は、生徒数だけでなく、指導内容や練習場所などの状況を総合的に判断し、安全面を考慮して決定していきます。

(シティプロモーション部長)

今後、制度は隨時見直されていく可能性がありますので、その際は改めて議論できればと思います。

皆様は、月会費について注目されていると思いますが、資料に記載されている年会費についても理解していただけているでしょうか。

月会費に加えて年会費も必要となるため、その点について説明できるように準備しておいた方が良いかもしれません。

ここで何を協議して何を決定するのかがよくわからないので、この点について、事務局としては何を決めてもらいたいということでしょうか。

(事務局)

本日示した資料は、指導者1人あたりに何人の生徒を配置するか、そしてそれに伴い月会費がいくらになるのかを示しています。

この資料を参考に、皆様には、成田市における今後の地域クラブ運営の方向性を決めるために、ご意見を共有していただきたいと考えています。

本日は、皆様のご意見を伺いながら、最適な指導体制と会費について話し合い、決定していくたいと考えております。

(校長会)

価格については一旦置いておいて、先ほど学務課の方からあったように、生徒数についてお話をさせていただきます。

部活動を長く経験してきた立場から、地域クラブを考えたときに、生徒20名に対して指導者1名が限界ではないかと感じています。

生徒20名を超えると、1人で指導するのは大変ですし、安全面も確保しにくくなるのではないかと予想されます。

生徒10名に対して指導者1名というのは、かなり贅沢な体制だと感じます。

(シティプロモーション部長)

生徒20名に対して指導者1名の場合、月会費は3,300円、生徒15名に対して指導者1名の場合、月会費は4125円、生徒10名に対して指導者1名の場合、月会費は5,500円となります。

指導者1人あたりの生徒数については、私も校長会と同じく、20名でも厳しいと感じますが、現状では20名というのが現実的な上限ではないかと考えています。

(事務局)

生徒数に応じて指導者を配置していくイメージとしては、最初は学校単位でクラブが運営されることになると思います。

例えば、1つの学校に20名の生徒が参加する場合、2名の指導者を配置するという考え方も検討しています。

生徒10名に対して指導者1名という体制の場合、生徒が30名集まれば3名の指導者を配置することになります。

同様に、生徒20名に対して指導者1名という体制の場合、生徒が30名集まれば2名の指導者を配置することになります。

このように、生徒数に応じて適切な指導体制を構築し、安全面を確保しながら、質の高い指導を提供していきたいと考えています。

(教育長)

指導者1人あたりの生徒数の基準としては、生徒15名に対して指導者1名の場合、生徒が30名になれば2名の指導者を配置することになります。

同様に、生徒10名に対して指導者1名の場合、生徒が30名になれば3名の指導者を配置することになります。

先ほど、教員の立場からは、生徒20名に対して指導者1名が限界ではないかという意見が出ました。

生徒10名に対して指導者1名は、贅沢な体制だと感じる方もいらっしゃるようです。

このように、様々な立場の方から意見が出ていますので、生徒数と指導者の配置について、皆様でしっかりと議論し、最適な体制を検討していく必要があると考えています。

生徒数に応じて指導体制が決まれば、それに伴い月会費も決まってくるため、皆様のご意見を参考に、今後の地域クラブの運営について方向性を定めていきたいと考えています。

ぜひ皆様のご意見をお聞かせください。

(成田市スポーツ協会)

成田柔道クラブでは、2年前からモデル事業を行っていますが、現在、3年生が引退し、生徒数は25名程度になりました。

正直なところ、指導者1人では大変です。

当初は2名まで指導者として給与を支払う予定でしたが、実際には3名から4名の指導者が活動しています。

この人数がいてこそ、きめ細かい指導と安全面への配慮が可能だと感じています。

しかし、費用面が課題であり、現在は2名分の給与で4名の指導者を賄っている状況です。

以前はボランティアで指導されていたため、報酬に対する不満はありませんでしたが、今後、様々な方から指導者を募集していくとなると、報酬体系の見直しも検討する必要があると考えています。

また、様々な競技があることを考えると、一律の基準で運営していくのは難しいと感じています。例えば、1人で20名の生徒を指導できる競技もあれば、安全面を考慮して10名に対して1名の指導者が必要となる競技もあるでしょう。

そのため、基準は必要ですが、競技によって柔軟に対応できる仕組みが必要だと思います。

具体的には、基本的な基準を定めた上で、危険度の高い競技や複数の指導者が必要な競技については、個別に協議して必要な指導者を配置する必要があると考えています。  
市内には10数種類の競技があるため、それぞれの競技の特性を考慮し、適切な指導体制と費用を検討することは、それほど難しい作業ではないと考えています。  
皆様で話し合って、それぞれの競技に適した指導体制と費用を決定できればと思います。

(教育長)

基準は必要だが、競技によってその時にお金が決まっても臨機応変という部分も必要なのではなかというご意見をいただきました。

(総合型スポーツクラブ)

成田市スポーツ協会のお話に関連して、少し気になる点があります。  
2名の指導者に2人分の指導料が発生しているにもかかわらず、ボランティアの方を2名追加して、その4名で2人分の謝金を分けているとのことです、これは最低賃金の観点から考えると、少し問題があるのではないかと感じます。  
また、指導者の配置についても、柔道など1つの種目の中でも、陸上競技のように投擲、跳躍、短距離、ハンドル、長距離など、複数の種目を担当する必要がある場合があります。  
1名の指導者が15名の生徒に対して、3時間かけてすべての種目を指導することは現実的に難しいと思います。  
このような場合、1名の有償指導者にボランティアの指導者が加わった場合、ボランティアの方への報酬はどうするのか、という問題が出てきます。  
地域貢献という観点から考えると、ボランティアの方への適切な待遇を検討する必要があると感じます。  
先ほど大学生についても話題になりましたが、大学生はボランティアとして活動してもらうのか、それとも指導者として報酬を支払うのか、明確な方針を立てる必要があると思います。  
大学生の中には、指導者資格を持っている方も多くいますが、資格を持っていない方も指導を行っている現状があります。一般の方についても同様です。  
これらの問題点について、どのように考えていらっしゃるか、お聞かせください。

(オーツベストフィットネス)

現在、すべての指導者の方と業務委託契約を結んでいるため、最低賃金以下の報酬が発生することはありません。  
ボランティアについてですが、報酬は受け取らなくても指導したいという意欲のある方もいらっしゃいます。  
大学生に関しても、基本的には業務委託契約を結んで、指導をお願いすることになります。  
現在、指導者向けの研修制度を導入しており、一定の研修を受けていただくことで、指導資格を取得できるシステムを構築しています。  
この研修を修了し、認定された方は、ボランティアでも指導が可能となります。  
しかし、責任ある指導者を増やす必要性があるため、ボランティアの方にはボランティア契約を結び、責任を持って指導にあたっていただけるよう、業務委託契約を結んだ指導者を優先的に配置していく方針です。

(総合型スポーツクラブ)

近隣自治体では、指導者の時給が3,000円というところもあれば、1,600円から1,200円に減額されたために辞めてしまったという話を耳にすることもあります。  
1,200円と3,000円では大きな差があり、報酬によって指導者の流動が起こる可能性は十分にあると感じます。  
実際、成田市から佐倉市へ指導をしに行くという話もよく耳にすることから、指導者も報酬の高い地域に移動する可能性があります。  
そのため、将来的に、成田市で指導者の報酬が下がる可能性も否定できません。

このような状況を踏まえ、指導者の確保と定着を図るためにには、魅力的な報酬体系の構築が必要だと考えています。

(オークスベストフィットネス)

地域クラブの持続可能な運営を重視しており、指導者の報酬についても、安定したシステムを構築していきたいと考えています。

そのため、現在の時給1,600円をベースに、今回の算定では200円アップの1,800円とし、大会への帯同については、1万円の交通費を別途支給するという最低基準を設定しました。生徒から徴収する月会費に関しても、生徒数の増減によって頻繁に変更するのではなく、大幅な減少がない限りは、設定した金額を維持していく方針です。

つまり、指導者の時給、月会費ともに、一度設定したら安定的に運用していくことを目指しています。

(成田市PTA連絡協議会)

指導者の配置について、いくつか懸念があります。

例えば、生徒20名に対して指導者が1名の場合、補助なしで1人で指導することになるのでしょうか。

現状、指導者不足が課題となっていることを考えると、そのような状況も十分に考えられます。

保護者として、特に女子生徒を持つ親御さんにとって、現在の社会状況を考えると、指導者を信頼できるのか不安に感じる方も多いと思います。

もし、女子テニス部で指導者が1名しかいない場合、女子生徒20名に対して大人の目が1人しかいない状況となり、わいせつ行為や暴言などのリスクが懸念されます。

このような状況を避けるために、大学生を補助として配置するのか、それとも本当に1人で指導するのか、クラブによって対応が異なるのか、明確な方針を示していただけたらと思います。

具体的に、どのような体制で指導していくのか、安全対策はどう考えているのか、詳しく説明していただけたら幸いです。

(オークスベストフィットネス)

現在の計画では、生徒20名に対して1名の指導者を配置することを基本としていますが、指導者不足という課題もあり、状況によっては、1人の指導者が複数名の生徒を担当することも想定されます。

例えば、生徒数が5名のクラブができた場合、そのクラブには20名しか生徒がいないクラブから指導者を派遣するといった対応も考えられます。

また、インフルエンザなどの病気で指導者が欠席した場合には、他のクラブで指導している先生を、その日の練習のない時間帯に派遣したり、本社と相談の上、練習の日程変更を行うなど、柔軟に対応していく予定です。

(成田市PTA連絡協議会)

基本的には指導員1人しかいないということですか。

(オークスベストフィットネス)

そうなります。

(成田市PTA連絡協議会)

地域クラブへの登録を検討する際に、「誰が指導者なのか。」という質問をよく耳にします。

特に女子生徒を持つ保護者の方にとっては、指導者が男性なのか女性なのか、また、いじめなどの問題が発生した場合に、道徳的な指導ができる方なのか、といった点について、不安を感じるのは当然のことだと思います。

これは、習い事塾などでも共通する問題点です。

お子様にとって、どんな指導者がいるのかを知る機会は非常に大切です。

クラブチームの指導者を事前に知ったり、見学に行くなどして、安心してクラブに登録できる環境を整えることは、非常に重要だと感じます。特に、指導者が1名しかいない場合は、保護者の不安は大きくなると思いますので、その点は十分にご検討いただきたいと思います。

(オークスベストフィットネス)

わいせつや暴言などを十分防ぐための研修制度とレポートを当社の方に出していただくといったこともございます。

その方がどのような方かができる限り把握をするという努力しか当社の方ではできませんが、我々としては自信を持って大丈夫な方ということで契約を結んでいます。

指導員に関して、指導員とは別に巡回スタッフもいまして、事務局員が巡回します。

巡回の際に指導法などを見ますので、指導員だけがその状況を把握しているわけではございません。

体験と見学は、すでに第2期モデルでも行っておりまして、一旦体験していただいて入団を決めていただくといったことを今後も用意していく予定です。

(成田市PTA連絡協議会)

第3期から始まるクラブでも見学ができる計画はありますか。

(オークスベストフィットネス)

第3期からは、部活動の活動日が基本的に土日になる予定です。現在、平日に部活動をしている方は、土日に活動する場合には、登録をお願いいたします。

(成田市PTA連絡協議会)

クラブを見れないままの登録ということですね。

(オークスベストフィットネス)

そうですね。スタート時点では、登録は無料です。参加費はかかりませんので、まずはご登録いただき、見学や体験期間として活用していただければと思います。

(総合型スポーツクラブ)

大会出場には指導者資格が必要ですが、資格取得には費用や時間などの負担が大きく、指導者にとってメリットを感じにくい現状があります。指導者資格取得の補助や、資格取得者向けのインセンティブを設けることで、指導者数を増やし、大会への参加を促進していく必要があると考えられます。

(オークスベストフィットネス)

今いただいたご意見は、どこの市町村でも共通する課題だと認識しております。指導者資格取得に関する補助については、当社事務局で検討を進めており、具体的な方法については現在議論中です。今後の課題として、真摯に受け止め、検討を進めてまいります。

(校長会)

先ほど、指導者1人に対して生徒20人は限界だと申し上げましたが、実際、多くの部活動では、1人の指導者が複数の種目を兼任したり、専門外の指導をしたりする状況です。

例えば、一つのクラブに複数の指導者がいれば、それぞれの専門性を活かした指導が可能になりますし、競技によっては種目やポジションによって指導方法が異なるため、専門性の高い指導が必要となります。

現在、学校の部活動では、多くの場合、2人の顧問がいますが、そのうちの1人は専門外の指導を兼任している場合が多く、実質的に1人で多くの種目を指導している状況です。

部活動が地域クラブになるのではないことは、強く認識をしていただきたいですし、深く

ご理解いただきたい。部活動の代わりにあるのではありません。

当初、部活動は学校から切り離し、地域で子供たちの活動を支えるという方針でしたが、国の方針転換により、地域展開という新しい事業として位置づけられました。

この事業の目的は、教員の働き方改革と、子供たちの活動機会の充実です。そのため、生徒10人に1人の指導者を配置することで、より丁寧な指導、専門的な指導、そして安全面の確保が可能となり、指導者の負担軽減にも繋がると考えられます。

これらのこと踏まえ、生徒10人に1人の指導者を配置することが、子供たちにとって最適な環境であると考えています。

#### (教育長)

地域クラブという観点から、皆様に考えていただきたい点が2点あります。

指導者の配置：複数の指導者を配置する必要があるという意見が出ています。これは、専門性のある指導や、生徒一人ひとりの安全確保、指導者の負担軽減などを考慮したものです。

安全性の確保：特定の種目においては、安全性の確保が特に重要となります。競技によっては、安全面を考慮した指導や、適切な環境整備が必要となる場合があります。

校長会からは、生徒20人に対して1人の指導者、生徒15人に対して1人の指導者、生徒10人に対して1人の指導者という3つの提案がありました。それぞれの提案には、必要な費用も伴います。

皆様からのご意見を参考に、地域クラブの運営について、より具体的な検討を進めていきたいと考えております。

#### (総合型スポーツクラブ)

保護者の方への説明に関して、生徒数と費用を紐づける方法には疑問を感じています。

安全な指導体制を確保するためには、20人に対して1人の指導者を配置するというガイドラインは重要ですが、実際には、生徒数が10人でも20人でも、複数の指導者がいるチームもあれば、1人の指導者しかいないチームもあります。

私の経験上、チームの規模に関わらず、最低限の指導体制を確保することが重要であり、生徒数によって費用が大きく変わるという考え方は現実的ではないと考えます。

例えば、全国大会を目指すチームは、遠征費や宿泊費などの費用がかかりますが、地域内で活動するチームは、比較的費用を抑えることができます。このように、チームの規模や目標によって費用は大きく異なるため、一律に生徒数と費用を結びつけることは適切ではないと考えています。そのため、保護者への説明においては、生徒数ではなく、安全確保のための最低限の指導体制を確保するための費用として、全体的な金額を提示する方が適切だと考えます。

#### (教育長)

この場は本当にそういう協議する場であるので本当に貴重な意見をありがとうございました。

事務局から何かありますか。

#### (事務局)

当初、生徒数に応じて指導者を配置することで、柔軟にクラブを立ち上げられると考えていました。しかし、皆様から複数名の指導者を配置してほしいというご意見が出たことを踏まえ、クラブの枠組みをある程度決めて、それに応じた指導者を配置し、受益者負担を決定していく必要があると考えられます。

つまり、事前にクラブ数をある程度想定し、それぞれのクラブに複数名の指導者を配置する計画を立て、それに基づいて受益者負担を算出していく必要があるということです。

この方向で進めていくことに、皆様は賛成でしょうか。

#### (成田市PTA連絡協議会)

多くの保護者は、地域クラブを部活動の代替と捉えているように感じます。そのため、月謝が5,500円だと、部活動と比べて高いと感じ、反発する可能性があります。

保護者の方々に、地域クラブは部活動ではなく、習い事や塾のようなものだと理解してもらうことが重要です。

例えば、「部活動ではなく、月謝5,500円で好きなスポーツを習い事ですよ。」というように説明することで、理解を得やすくなるかもしれません。

また、地域クラブは部活動のように、特定の時期にしか入会できない、あるいは大会に参加しなければいけない、というものではありません。

習い事のように、好きな時に始め、好きな時に辞めることができる自由度の高いシステムにすることで、保護者の不安を解消し、参加しやすい環境を構築できるのではないかと考えます。

例えば、もし、お子様がチームと合わなかったり、何か問題が発生した場合でも、自由に退会できることを明確に示すことで、保護者の安心感に繋がり、参加へのハードルを下げることができるでしょう。

このように、地域クラブの自由度を明確にすることで、保護者の理解を得やすくなり、より多くの子供たちが、安心してスポーツを楽しむことができるようになるのではないかと期待しています。

#### (事務局)

保護者の方々に地域クラブの概念を理解していただくことは、容易ではありません。これまで、地域クラブは従来の部活動とは異なる、自由度の高い習い事であると説明してきましたが、なかなか浸透していない状況です。

確かに、理想的には、生徒は自由に好きなクラブを選択し、移動することも可能であるべきです。しかし、市内全体で事業を展開していくためには、移動に制限がある生徒も考慮する必要があります。

例えば、身体的な事情や家庭の事情で、遠くまで移動できない生徒もいます。そのような生徒が、地域クラブに参加するためには、自宅近くの拠点にクラブが存在することが重要です。

そのため、市内全体のバランスを考慮し、今回は4拠点方式を採用することにしました。

この方式により、市内全域の生徒が、自宅から比較的通いやすい場所にクラブを見つけ、参加しやすくなると考えています。

もちろん、移動が可能な生徒については、可能な限り、希望するクラブへの参加を支援していく予定です。

#### (成田市PTA連絡協議会)

それが部活動と似ているから混乱するんだと思います。

#### (事務局)

現在、大会への参加は、従来の部活動と同じ形式で行う予定です。そのため、土日の練習のみ指導者が変わるという現状では、地域クラブというより、部活動の延長線上にあるという印象を与えててしまう可能性があります。

しかし、地域クラブ化には、学校では実施されていない種目の活動や大会参加という大きなメリットがあります。

例えば、学校では部活動として行われていないスポーツ種目も、地域クラブであれば、大会への参加が可能になるかもしれません。

生徒や保護者の方々に、地域クラブ化による新たな可能性について理解を深めていただくために、積極的に情報提供を行っていく必要があります。

#### (教育長)

本日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。事務局として、今後の検討を進める上で、大変参考になりました。

より良い地域クラブを形成するためには、様々な立場の方々からの意見を広く収集することが重要です。

つきましては、皆様にもご意見を伺いたいと考えております。既に意見を述べられた方も含め、

ご意見をお聞かせいただければ幸いです。

(成田市スポーツ協会)

柔道クラブからの要望です。引率に関する情報提供についてです。

クラブ運営責任者として、重要な情報であるにも関わらず、事前に情報を得ることができなかつた点は、大変困りました。

今後は、学校等への情報公開と同時に、クラブ運営責任者にも情報提供していただけると幸いです。

そうすることで、保護者の方への説明や、問い合わせ対応をスムーズに行うことができます。  
ご理解とご協力をお願いいたします。

(教育長)

ご意見ありがとうございました。今後進めていく上で気をつけていきたいと思います。

それでは、続きまして

指導者報酬額に伴う受益者負担額の変化について、オーツベストフィットネス様からご説明をお願いします。

(オーツベストフィットネス)

指導員の確保と質の向上を図るために、指導員の時給を検討しました。

生徒15名に対して指導者1名の配置を想定した場合、必要な指導員数は約155名となります。指導員の時給は、1,800円、2,000円、3,000円の3パターンで試算を行いました。

大会等同日当は、時給に関わらず10,000円とし、交通費は1,000円としています。

試算の結果、時給が3,000円の場合、受益者負担額が大きくなり、多くの生徒が参加できない可能性があります。

一方、時給を2,000円程度まで引き上げても、受益者負担額は月3,000円台に収まる見込みです。

この資料は、今後の検討材料としてご参考ください。

(教育長)

指導者の時給に対し、かかる月々の受益者負担額についてご説明いただけたと思います。

この件について何かご質問等ございますでしょうか。

(総合型スポーツクラブ)

次の会議までに来年度、中学1年生や中学2年生になる方まで広げてのアンケートを取り、集計してもいいのかなと思いました。

(教育長)

アンケートの対象者の拡大についてのご意見がございましたが、いかがでしょうか。

(オーツベストフィットネス)

アンケートの実施にあたり、保護者の皆様からの幅広い意見を収集することは重要だと考えております。

そのため、教育委員会様と連携し、アンケート内容や実施方法について、改めて検討を進めてまいります。

また、本日のご意見を踏まえ、アンケートを実施する前に、保護者の皆様に対して地域クラブについての説明をしっかりと行う必要があると感じております。

地域クラブの目的や意義、活動内容などを丁寧に説明することで、保護者の皆様の理解を深め、より有効なアンケートを実施できると考えております。

教育委員会様との協議を基に、保護者全体へのアンケート実施に向けて、準備を進めてまいります。

(校長会)

次回までに、以下の情報についてお教えいただけますでしょうか。

- ・設置予定のクラブの種類
- ・各クラブに配置される指導員の数

(教育長)

それについては、用意の方は可能でしょうか。

(オークスベストフィットネス)

承知いたしました。

次回までに、教育委員会様と共有している資料に基づき、可能な範囲で、設置予定のクラブの種類と各クラブに配置される指導員の数について、詳細をお伝えします。

(事務局)

第3期では、参加する子供の数によってクラブを細分化する方針を採用しているため、参加人数が確定するまでは、具体的なクラブ数や指導員の配置についてお伝えすることができませんでした。

今回の協議会では、参加人数が確定していることから、各クラブの活動場所と担当指導者を示せる見込みです。

補足として、資料に記載されている時給3,000円は、佐倉市の指導員報酬を参考に設定したものです。

そのため、生徒15人に対して指導者1人を配置した場合、受益者負担額は4,125円となりますが、佐倉市と同等の条件で指導者を確保しようとすると、受益者負担額は5,500円にまで上昇する可能性があります。

(成田市PTA連絡協議会)

佐倉市は5,500円なんですか。

(事務局)

佐倉市はモデル事業なので、受益者の負担はまだ発生していません。

(成田市PTA連絡協議会)

佐倉市もまだ受益者負担額は決まっていないが、時給は3,000円払ってることですか。

(事務局)

はい。その通りです。

(教育長)

それでは以上で協議事項が終了となります、よろしいでしょうか。司会を事務局の方にお返ししたいと思います。

(事務局)

会長ありがとうございました。

皆様、ご協議ありがとうございました。たくさんのご意見をいただきまして、我々としましても多くの課題を見つけさせていただきました。また検討してまいりたいと思います。

協議の中でも「その他」でたくさんご意見いただきましたが、それ以外のことで、ご意見、ご質問等ありましたらお願いいたします。

(校長会)

前回、保護者の方々への認知度向上についてお話をありがとうございましたが、教育指導課のみでの取り組みには限界があると考えております。

昨年、教育指導課から発行された「部活動地域移行だより」は、学校を通じて保護者の方々に配布されました。しかし、多くの方から「内容がよくわからない」といった質問があり、説明不足を感じています。

この問題を解決するためには、市全体で推進体制を強化する必要があると考えており、前回、成田市に「部活動地域展開推進室」または「プロジェクトチーム」の設置を提案させて頂きました。現在、この提案についてどのような検討状況なのか、お教え頂けますでしょうか。

(教育部長)

前回ご意見をいただき、ありがとうございました。現在、プロジェクトチームを立ち上げる話は進めておりませんが、シティプロモーション部関係課と適宜協議を行いながら進めています。

地域展開については、今日も多くのご意見をいただいているものの、課題が多いと感じています。今後どのように展開していくのか、国も令和8年度からの6年間を改革実行期間と定めており、検証していく必要があります。

プロジェクトチームを公式に示す段階ではありませんが、日々検討を重ねておりますので、明確なことを申し上げられないことをお詫び申し上げます。教育委員会と市長部局の協力を得ながら、努力を続けてすることをお伝えいたします。

(校長会)

作りませんかとか、進めませんかという議論も進んでいないと、とらえてもよろしいでしょうか。

(教育部長)

部活動地域展開以外にも、様々な事業を抱え、多くの課題に直面している状況です。

市として、この課題を克服し、地域展開を成功させるための方法を、引き続き検討してまいります。

(成田市PTA連絡協議会)

指導課だけでは大変なんだと思います。保護者がわからない時に、直接聞ける相談窓口のようなものがプロジェクトチームにあったほうが、保護者も心強いかなと思いますので、検討していただけるとありがとうございます。

(校長会)

プロジェクトチーム推進室を作るということは同じ意見です。今教育指導課の方々も、2年、3年で入れ替わってしまうので、継続していくということを考えていくのであれば、やはり市長部局の方たちに入っていただいて、教育指導課とチームを作ってもらって進めていかないと、今いる課長と副参事がいなくなったら、また1からっていう形になってしまいうような部分も出てくると思いますので、ぜひご検討いただけたらと思います。

(事務局)

今この協議会の前に検討委員会というものを行わせていただいております。

そういったところから少しずつまた膨らませていくというところで考えてまいりたいと思います。ご意見ありがとうございました。

他の皆様いかがでしょうか。

それでは連絡事項に移らせていただきます。

次回の協議会ですけども、資料の方には10月中旬というふうに表記させていただきましたが、先ほどもお話しありましたように9月下旬から10月というところで実施を考えてまいりたいと思います。

次回の内容としては引き続きまして受益者負担額、それから困窮世帯の補助金についても少し触れていきたいと思います。

それから移動手段の最終確認を可能でしたらお話に上げられればと思います。  
先ほど申しましたように、今回の協議会を行う前には、検討委員会というものを開催させていただきますので、関係の皆様にはお集まりをいただければと思います。  
いずれの日程も今後調整をさせていただきまして、決定次第事務局より連絡をさせていただきますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

それでは以上をもちまして令和7年度第2回成田市部活動の地域展開に関する協議会を閉会とさせていただきます。  
本日は長時間ありがとうございました。